



トウキョウトガリネズミが生息している恋問海岸。写真左側（海側）には、はっきりと車が走ったであろうタイヤの跡が残っている。町としても看板を設置し、車の進入禁止を呼び掛けています。

## まだまだ謎はたくさん

トウキョウトガリネズミの赤ちゃんを撮影した六田さん。次の目標は何だろうか。

「一番関心があるのは、トウキョウトガリネズミが冬の期間、どのように過ごしているのかということですね。トガリネズミの仲間は『冬眠をしない』といわれています。トウキョウトガリネズミの食べ物は、虫などの生き物ですが、代謝が良すぎるため4〜5時間何も食べなければ死んでしまいます。ですが、冬の恋問海岸で虫を目にするのはほとんどありません。どこでどうやって冬を越しているのか、が不思議で仕方ないのです。他にもまだまだ謎がたくさんありますので、それらを解明して撮影することが、次の目標です」

## 白糠町はすごい けれども、もったいない

「私は仕事柄、全国各地に行きますが、白糠町ほど豊かな自然がしっかりと残っている場所は

ことにより、その許可もなく密猟をする人が出てくるかもしれません。一番心配なのは、悪気のない人たちです。トウキョウトガリネズミを見たいとか、写真撮りたいといって、草原を踏み荒らしてしまうと、あっという間に草原は荒廃してしまいます。でも、そういう人たちは、自然を壊してやろうという気は一切ないので、本当に難しいところなのです。私には、むやみに草原には入らないでほしいとお願ひすることしかできま

めったにありません。何といっても日本最大の陸上動物であるヒグマから世界最小の哺乳類であるトウキョウトガリネズミまでいるんですから。それにオジロワシやアオバトがその辺を飛び、川にはサケやシシャモがのぼってくる。こんな町は他にはありませんよ。自然の豊かさが言ったら全国屈指なんじゃないかなと思います。ただ、それだけにもったいないと思うのです。生意気に言わせてもらえば、そうしたすばらしい自然環境が身近すぎて、当たり前のようにあるからその貴重さに多くの人が気づいていない。トウキョウトガリネズミに偶然ではなく出会える場所は『北海道広し』と言えども、現時点では浜中町と白糠町だけなのです。その恋問海岸にごみを捨てていく人もいるし、車で走り回る人もいます。残念ながら自然を大切にしているという印象がありません。この状態が続けば近い将来、トウキョウトガリネズミはいなくなってしまうかもしれません。一人の小さな行動の積み重ねが、そういう事態につながっていく

せん。もし、私が生息地を明かしたことで、トウキョウトガリネズミや他の生き物たちの平穏な暮らしが奪われてしまったら責任の取りようがないですし、私が白糠町に移住してきたことさえ間違っていたことになってしまいます。そうしたりスクがあるため、今まで細かな情報も明かしてきませんでした。ですが、恋問海岸を車で走り回るような人は、ここで貴重な動物が暮らしていることを知らないから、そういうことをしてしま



1 ひどいところでは、昨年と比べて3倍も恋問海岸の草原が波で削られたと話す六田さん。六田さんは、流木も多く流れてきたことから、今年の1月にトンガ諸島で発生した海底火山の噴火によって高潮が来たのではないかと推測。2 削られた断面に根を張っているのは、ハマニンニクという植物。白糠町の山、川、海などの自然が健全ならば、また山から砂が運ばれ、こうした植物の力によって数年で元通りの草原に戻るのではないかと話す六田さん。恋問海岸の草原は、町全体の自然の豊かさの象徴だといいます。

のです。自然は一度失ったらいくらお金を出しても簡単に取り戻せるものではありません。せっかく世界にも誇れる豊かな自然があるのですから、それをもっと大切にしていってほしいです。テレビ放送などでは、トウキョウトガリネズミの生息地は北海道としか公表されていない。

のだと思ったのです。長期的に考えると、生息地を明かして、トウキョウトガリネズミの存在を知らせることが、恋問海岸の自然を守ることにもつながると信じて、今回取材を受けるという大きな決断をしました」

## 白糠の夏は本当に涼しくて 過ごしやすい

毎日トウキョウトガリネズミの世話をしていますが、見るたびに『小さいなあ』『かわいいなあ』って思うんですよ。いまだにこの小ささやかわいさには慣れません(笑)。もうすっかりトウキョウトガリネズミの魅力にとりつかれてしまったので、自分自身で満足できる日が来るのか分りませんが、満足いくまで今の生活を続けたいと思っています。白糠町の夏は本当に涼しくて過ごしやすい(笑)。とにかくそれが一番ですね。あとは『しらぬかの湯』。白糠町に来てからは、夏の間はトガリネズミのことでしか時間を使っていないので、人と接する機会がほとんどありません(笑)。です

「実は今回の『広報しらぬか』の取材依頼をいただいたのは移住してきた直後のことでした。ずっと先延ばしにしていたのは、一年以上の間、この取材を受けるべきか悩み続けていたからです。トウキョウトガリネズミは絶滅危惧種なので、生息地を明かすことには大きなリスクがあります。捕獲するには許可が必要なのですが、生息地を明かす

から、しらぬかの湯で人と交流するのが楽しいんです。とてもいい気分転換になります。白糠町は、この先もずっと、動物にとっても人間にとっても住み心地のいい町であり続けてほしいと、心から願っています」

## トウキョウトガリネズミを見たい方へ

トウキョウトガリネズミを見たいという方は、下記のメールアドレスに①名前②連絡先③観覧希望日時を記入し、送信してください。観覧は夏の期間のみで、六田さんとの日時の調整が必要となります。

Email : rokuta@six-h.com

